

# あげお 議会だより



ぺったんぺったんおもちつき「早く食べたいな」

## 平成18年12月定例会日程

### 主な内容

市長の提案説明.....	2 ~ 3 P
委員会の主な審査内容・討論.....	3 ~ 5 P
請願の結果.....	3 P
決議.....	4 P
提出議案とその結果.....	6 P
市政に対する一般質問.....	7 ~ 11P
委員会活動、決算審査、 意見書、傍聴席からひとこと.....	12P

12月4日.....	開会、議案の上程 提出議案の説明
12月6日.....	議案に対する質疑、委員会付託
12月7日.....	総務・建設水道常任委員会
12月8日.....	文教経済・福祉消防常任委員会
12月12日.....	一般質問
12月13日.....	一般質問
12月14日.....	一般質問
12月15日.....	一般質問・福祉消防常任委員会
12月19日.....	福祉消防常任委員会
12月20日.....	委員長報告、討論、採決 議員提出議案の上程、 討論、採決、閉会

## 12月定例会

# (仮)西消防署複合施設用地買収費などを含む一般会計補正予算 安全安心なまちづくり条例など33議案を可決・認定・答申



安全安心なまちづくりのため校門前で見守り活動（大石北小学校）

12月定例会で審議した議案は、市長提出議案及び諮問が20件、議員提出議案が8件の合計28件で、うち25件が原案のとおり可決・異議なき旨答申、3件を否決したほか、9月定例会で閉会中の継続審査として決算特別委員会に付託した平成17年度各会計歳入歳出決算認定議案8件も原案のとおり認定しました。

## 市長の提案説明から

## 上尾市一般会計補正予算

今回の補正につきましては、年度も残り少ないことから、緊急性の高い事業への予算配分とともに、既存事業については、事業費の決算見込みに伴う関連予算の整理を行い、編成しました。

その結果、補正額は3億5,464万5,000円となり、累計予算額は496億2,352万1,000円となりました。

主な歳出は、総務事業では、防犯のまちづくり支援事業として、小・中学校33校全校に対し防犯パトロール用資機材を配布する経費を計上しました。

福祉事業では、平成20年4月からの新たな後期高齢者医療制度の創設に関連して設置された埼玉県後期高齢者医療広域連合設立準備



12月定例会での市長の提案説明

会に対する負担金を新たに計上しました。また、生活保護費や心身障害者に対する各種施策などについては、事業費の決算見込みに伴う関連予算の整理を行いました。

衛生事業でも同様に、各種検診などについて、事業費の決算見込みに伴う関連予算の整理を行いました。

農林水産業事業では、農業者への所得保障制度の変更に対応して、その周知のための所要経費を計上しました。

土木事業では、道路改良事業として、都市再生機構の西上尾第一団地の歩道拡幅整備に伴います上尾市道分に係る負担金を新たに計上しました。

消防事業では、(仮称)西消防署複合施設の用地買収費を新たに計上しました。

教育事業では、本年度は中学校全国・関東大会などで特に活躍が



著しく、学校数・選手数とも出場が多かったことから、市立中学校全国・関東大会等補助金を増額計上しました。



関東大会で優勝した太平中男子バスケットボール部

以上が主な歳出ですが、これを賄う財源として、国・県支出金、繰越金などを見込みました。

**条例その他**

**上尾市安全安心なまちづくり条例の制定については、犯罪のない安全で安心なまちづくりの基本理念を定めるとともに、市、市民、事業者及び土地建物所有者などの責務を明らかにし、もって市民が安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図りたいので、提案するものです。**

**上尾市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定については、地方自治法の一部改正に伴い、監査委員の定数に関する規定に関し所要の改正を行う必要がある**

るので、提案するものです。

**上尾市副市長の定数を定める条例の制定については、地方自治法の一部改正により、助役に代えて市に副市長を置くものとされたこと及びその定数は条例で定めるものとされたことから、新たに当該条例を定める必要があるので、提案するものです。**

**上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に対する休業補償などの額の算定の基礎となる補償基礎額及び介護補償の額を改定するとともに、傷病等級ごとの障害などに係る規定等の整備をしたいので、提案するものです。**

**上尾市民保養所条例を廃止する条例の制定については、第6次上尾市行政改革大綱・行政改革実施計画の方針に基づき、上尾市民保養所を平成19年3月31日をもって閉所としたいので、提案するものです。**

**上尾市放課後児童クラブ条例の制定については、保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図**

るため、上尾市放課後児童クラブを設置したいので、提案するものです。

**上尾市重度心身障害者医療費支給条例及び上尾市ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正する条例の制定については、健康保険法等の一部を改正する法律の施行により導入された生活療養に係る標準負担額に関し、その2分の1に相当する額又は当該標準負担額に相当する額を対象者に支給することができるようしたいので、提案するものです。**

**上尾市身体障害者福祉センター条例の一部を改正する条例の制定については、障害者自立支援法の施行により、上尾市身体障害者福祉センターにおいて実施していた身体障害者デイサービス事業が地域活動支援センター事業に移行したことに伴い、当該事業に係る利用料金その他の事項に関し、同法等の規定に基づく所要の改正を行いたいので、提案するものです。**

**上尾市ホームヘルプサービス手数料条例の一部を改正する条例の制定については、上尾市ホームヘルプサービス手数料条例の規定に基づき手数料を徴収していた者のうち、精神障害者については、障害者自立支援法の規定による利用者負担に移行したことから、所要の改正を行いたいので、提案するものです。**

**上尾市訪問入浴サービス手数料**

**条例を廃止する条例の制定については、訪問入浴サービス事業が障害者自立支援法に規定する地域生活支援事業に移行することに伴い当該サービスに係る手数料は市が徴収するものではなくなることから、本条例を廃止したいので、提案するものです。**

**委員会審査から**

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

**総務常任委員会**

**補正予算  
(仮)西消防署複合施設  
の債務負担行為**

予算メモ 債務負担行為の補正で、(仮)西消防署複合施設建設事業の平成18年度から平成19年度までの債務負担行為を計上。

委員 現在、実施計画中とのことだが、今後、計画案の変更もありえるのか、正式にはいつ決まるのか。

答 現在、実施設計をしているさなかであり、実施計画案は12月20日にはすべて完了する予定である。計画の大幅な変更はない。

**請願の結果**

市民の皆さんから提出された請願は、委員会審査を経て12月20日の本会議で採決し、1件を採択しました。

**採択された請願**

原市学童保育所過大規模化に関する請願  
上尾市大字原市1019番地4  
代表者 原市学童保育所父母会  
会長 皆川良氏  
他3,597人



(仮)西消防署複合施設建設予定地

委員 なぜ今、債務負担行為を計上しなければならないのか。平成19年度の当初予算で間に合わない理由はなにか。日程などはどうなっているのか。

答 日程については、平成20年1月に開署を予定しているため、平成19年1月に入札を行った



西小児童クラブ予定スペース

いと考えている。逆算して工期に合わせ、今議会で債務負担行為を設定した。

委員 用地買収、基本設計から平成19年度に予定の外構工事まで含めて幾らかかるのか。

答 概算額で約18億円弱である。

### 条例制定 授業終了後の遊びと生活の場を提供

上尾市放課後児童クラブ条例の制定について

この条例は、保護者が昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後の遊び及び生活の場を提供するもので、具体的には、通学区域内に学童保育所がない西小学校の校舎内に西小なかよし児童クラブを設置するものです。

委員 定員で、「当該定員を超

えて児童を入室させることができるとは、何人くらいまで想定しているのか。

答 2割の、60名を想定している。

委員 入室できる児童として、「市内に住所を有する」となっているが、西小の通学区域外の児童も入所が可能なのか。

答 「特別の事情がない限り」は、原則として通学区内の子どもが優先する。この「事情」は、養護学校などに行っている子どもなどであるが、個々の事案の状況を審査して決定していくことになる。

### 文教経済常任委員会

### 補正予算 必要保護児童・生徒の給食援助費を増額

予算メモ 必要保護児童・生徒の給食援助費で、対象児童・生徒数の増加により不足額が見込まれるため、その経費を計上。

委員 対象児童・生徒の数の推移と、給食費の滞納の現状を伺いたい。

答 対象児童・生徒数は、当初予算で、小学生780人、中学生436人、合計1,216人分を計上したところであるが、9月末現在で、小学生797人、中学生419人、合計1,216人となり、平成19年3月末までに、小



おいしくて安全な学校給食

学生829人、中学生431人、合計1,260人になると見込み、補正予算を計上した。滞納者は、小学校17校、中学校8校で確認されている。

委員 滞納者への対応と、滞納の理由を伺いたい。

上尾市議会では12月定例会で決議1件を可決しました。

### 決議

### 埼玉県立上尾東高等学校の跡地の有効活用を求める決議

埼玉県立上尾東高等学校は、昭和49年、人口急増と高校進学者の増加という社会情勢の中、上尾市平塚地内に開校した。開校に際しては、当時一般会計予算約81億円の予算規模のうち、5%程度を占める約4億円の市税を投じ、仮設校舎の建設、一部用地の買収、造成工事などを支援している。これは、現在の財政規模の約500億円と比較しても、相当な市税を投入した事業になり、投資財源の少ない状況下での、上尾市の積極的な支援であった。

また、土地取得や通学道路整備などでは、地元の方々の並々ならぬ御協力を得て開校したものである。

埼玉県においては、県立高等学校の中期再編整備計画の一環として平成19年度末で閉校することとなっているが、閉校後の活用に関しては、下記の点について配慮するよう求める。

記

- 1 閉校後の跡地利用について、上尾市及び地元住民の意見を最大限尊重し、十分協議すること。
- 2 協議に当たっては、将来の周辺のまちづくりを視野に入れ、文化施設（美術館等）の設置などを検討すること  
以上決議する。

平成18年12月20日

上尾市議会

### 福祉消防常任委員会

### 補正予算 (仮)西消防署複合施設の用地を買収

答 滞納者に対しては、各学校の先生が保護者に対して納付をお願いしている。滞納の理由については、一つは経済的理由、もう一つは保護者の責任感の欠如、という報告を受けている。

人に1署設置することが望ましいことから、東西の消防力の均衡を図る意味からも消防署として建設する計画にした。

委員 建設予定地は3,500平方メートルと1,500平方メートルの土地であるので、消防署の床面積に見合う分の土地だけを購入すれば済むのではないか。福祉関連予算においては厳しい財政状況の中でさまざまな市民負担をお願いしている状況にあって、5,000平方メートルの土地が確保できたので複合施設にしたい、というのはいかがなものかと考えるが見解を伺いたい。

答 建物の建設は3,500平方メートルでも可能であるが、訓練を行うにあたっては直線で60メートルの長さも必要であることから、これを



確保できる2筆の土地を購入した。

### 条例制定 犯罪のない安全で 安心なまちづくりを

上尾市安全安心なまちづくり条例の制定について

この条例は、犯罪が多発していることから、犯罪のない安全で安心なまちづくりの基本理念を定めるとともに、市、市民、事業者及び土地建物所有者などの責務を明らかにするものです。

委員 「市の責務」の、「必要な施策」とはどのような事業を想定しているのか伺いたい。

答 啓発活動としては、パンフレットの配布、ポスター掲示、防犯講演会の開催、ホームページによる犯罪情報などの情報提供などを予定している。支援策としては、パトロール資材の配布、団体が連携して活動できるためのネットワークづくりなどを予定している。環境の整備については、安全

### 議員提出議案として 条例1件を可決

上尾市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第91条第1項の規定により、上尾市議会の議員の定数を改正するため提案したものです。

「32人」を  
「30人」に改める。

附則の1として、条例の施行期日を公布の日とし、2として、改正後の規定はこの条例の施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用する、と定めています。

マップの作成、防犯に配慮した道路・公園の普及、子ども110番の家・事業所の普及、空き地・空き家などの改善、落書き・迷惑ビラなどの排除に努め、また、その他安全で安心なまちづくりを推進するための必要な事項については、小学生への防犯ブザーの配布、学校への「さすまた」の配布及び防犯カメラの設置などである。

### 条例制定 市民保養所「ばんだ い上尾荘」を廃止

上尾市民保養所条例を廃止する条例の制定について

市民保養所「ばんだい上尾荘」を、平成19年3月31日をもって閉所するため、市民保養所条例を廃止するものです。

委員 市民の健康増進及びレクリエーション活動の助長を図ることを目的に設置された「ばんだい上尾荘」の役割は終わったと考え

答 今でも宿泊利用率が30%前後あることから役割が終わったものとは認識していないが、改築の必要性と財政状況、ランニングコスト、財政負担を考慮した。また、地方公共団体が保養所を運営することが適切ではないとの国からの指導を踏まえ廃止する結論に至った。

### 建設水道常任委員会

### 補正予算 西上尾第一団地前の 市道整備に補助

予算メモ 都市再生機構が西上尾第一団地前の市道2019号線に2.5mの歩道を整備することに伴う負担金を計上。

委員 西上尾第一団地歩道工事については、もともと自治会が早く整備してほしいとの要望を都市



西上尾第一団地前の歩道整備

再生機構や市に対して行っていた経緯があり、このたび、自治会との話し合いも済んで駐車場も削られることなく整備ができたということ、きれいになって良かったという声が届いている。

### 今議会で決まった人事

人権擁護委員に  
森久 昭子

森久昭子氏の任期が平成19年3月31日で満了となるため、森久昭子氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

森久 昭子氏 / 71歳

住所は上尾市緑丘二丁目7番24号

### 賛成討論

### 要旨

上尾市議会の議員定数条例の一部を改正する条例に、次の点で賛成する。

現在は、地方分権を推し進め、地方の時代を構築しようとする努力している段階である。このような時代に地方自治体の議会は、自主的に経費を削減するとともに、少数精鋭という考え方で、執行部のチェックと政策提言をしていくための具体的人員を見極めていくべきである。

議会は、執行部に行財政改革を提言するだけでなく、自らの組織である議会の効率化についても考えていくべきで、定数削減は議会改革の一環と考える。

### 反対討論

### 要旨

一般会計補正予算に、次の点で反対する。

(仮)西消防署複合施設用地買収費について、元々は消防署建設用地として確保するものであったはずだったが複合施設用地となった。

この財政状況の厳しい中で、支出増となる複合化に至る過程に計画性が不足している。用地の取得は、消防署建設に必要な面積のみを取得すべきである。

安心安全なまちづくり条例に、次の点で反対する。

「安心安全なまち」は、地域の支え合いが基本であると考えられる。「安心安全なまち」というならば、「防犯」だけが中心ではなく、地域の助け合いと見守りをどう作ることが重要である。

上尾市議会議員定数条例の一部を改正する条例に、次の点で反対する。

議員定数の削減は、議員一人当たりの有権者数を増大させ、議員と市民をますます遠ざけるものがあり、執行部をチェックする力を弱めるものである。

「行政改革では議員も痛みを」というのが、議員の数が減り、市民の声を反映できなくなるこの方が議会制民主主義の観点から後退するもので、痛みを受けるのは市民に参加しようとする市民である。

## 平成18年12月定例会提出議案とその結果

= 賛成 × = 反対 = 賛成・反対  
 = 賛成・反対・退席 = 賛成・退席  
 = 退席

## 閉会中の継続審査のもの（8件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	市民	公明	未来	無党派
議案第75号	平成17年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定		×				
議案第76号	平成17年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第77号	平成17年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第78号	平成17年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第79号	平成17年度上尾市大谷北部第三土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第80号	平成17年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第81号	平成17年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第82号	平成17年度上尾市水道事業会計決算の認定について	原案認定						

## 市長提出議案及び諮問（20件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	市民	公明	未来	無党派
議案第110号	平成18年度上尾市一般会計補正予算（第3号）	原案可決		×				
議案第111号	平成18年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決						
議案第112号	平成18年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決						
議案第113号	平成18年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決						
議案第114号	平成18年度上尾市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決						
議案第115号	上尾市安全安心なまちづくり条例の制定について	原案可決						
議案第116号	上尾市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第117号	上尾市副市長の定数を定める条例の制定について	原案可決						
議案第118号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決						
議案第119号	上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第120号	上尾市民保養所条例を廃止する条例の制定について	原案可決		×				
議案第121号	上尾市放課後児童クラブ条例の制定について	原案可決						
議案第122号	上尾市重度心身障害者医療費支給条例及び上尾市ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第123号	上尾市身体障害者福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第124号	上尾市ホームヘルプサービス手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第125号	上尾市訪問入浴サービス手数料条例を廃止する条例の制定について	原案可決						
議案第126号	所得税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決		×				
議案第127号	埼玉県後期高齢者医療広域連合の設立について	原案可決		×				
議案第128号	彩の国さいたま人づくり広域連合の規約変更について	原案可決						
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申						

## 議員提出議案（8件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	市民	公明	未来	無党派
議第19号議案	八ッ場ダム建設の見直しを求める意見書	原案否決	×			×	×	
議第20号議案	農作物の自然災害防止のための多目的ネット補助金制度の創設を求める意見書	原案可決						
議第21号議案	公立高校授業料減免制度の維持・拡充を求める意見書	原案可決				×	×	
議第22号議案	さわやか相談員の増員を求める意見書	原案可決					×	
議第23号議案	障害者自立支援法の施行に伴う利用者負担の軽減対策を埼玉県に求める意見書	原案否決	×			×	×	
議第24号議案	障害者自立支援法の施行に伴う利用者負担の軽減対策を求める決議	原案否決	×			×	×	
議第25号議案	上尾市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決		×				
議第26号議案	埼玉県立上尾東高等学校の跡地の有効活用を求める決議	原案可決						

## 請願（3件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	市民	公明	未来	無党派
請願第28号	原市学童保育所過大規模化に関する請願	採択						
請願第29号	子育て支援として子どもの医療費無料化を義務教育終了まで拡充を求める請願	継続審査						
請願第30号	「ばんだい上尾荘」の存続を求める請願	不採択	×		×	×	×	

# 市政に対する一般質問

## ここが問題 そこが聞きたい

### 行財政一般

#### 太陽管財(株)との業務委託契約に対する調査は

**問** 今年7月にふじみ野市で小2の女児が死亡した事故は、委託を受けていた業者のさまざまな管理が原因である。本市も同じ業者に8件の業務委託をしているが、再委託の有無など業務委託契約に対する調査について伺いたい。

**答** 業務の再委託の有無を確認するため事情聴取と提出書類により実施した。

具体的には、事故後まず管理職や社員に対する事情聴取を本市の庁舎内会議室において行い、再委託がないとの確認を行った。その際、各発注課に提出された業務従事者名簿や勤務体制の一覧について各配置先で把握している内容に間違いがないことを確認し、後日再委託のないことを確認する書面

の提出も受けている。

来年度の業務委託契約の締結時期が近いことから再度、全庁的に契約の適正履行を徹底するため、本市が発注する委託業務については、従事者の雇用関係の確認、監督員や現場責任者の職務の再確認必要に応じた業務の処理状況調査などの強化を図っていきたいと考えている。

#### 上尾駅改修に係る工事費の財源は



改修予定の上尾駅

12月定例会の一般質問は、12月12・13・14・15日の4日間行われ、20人の議員が登壇し、市政全般63項目にわたって市当局の見解を求めました。また、この4日間で169人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。

#### 問

上尾駅改修について、9月議会で概算工事費と負担割合を聞いたが、市民の皆さんが心配しているところの、工事費の財源を伺いたい。

#### 答

上尾駅改修に係る市負担分についての財源は、特定財源として国庫補助金の「まちづくり交付金」や県補助金の「彩の国みんなに親しまれる駅づくり補助金」などを活用していきたい。また、市債も活用していくが、これについては、地域住民の行政参加意識の高揚とともに、地方債の個人消化及び資金調達の多様化を図る趣旨から、発行が制度化された住民参加型市場公募債など、市民とともにする駅の観点で先進事例も参考にしながら検討したい。

#### 男女共同参画推進の取り組みは

#### 問

2003年7月に上尾市男女共同参画推進懇話会が設置され、2005年1月に提言書が市長に提出されている。この

取り組みの中から、審議会への女性の登用の現状と、条例制定への取り組みについて伺いたい。

#### 答

審議会への女性の登用にについては、平成17年度は、審議会等の委員の総数が473人で、そのうち女性委員が111人で23・5%、平成18年度は、委員の総数が469人で、そのうち女性委員が106人で22・6%となっている。

条例制定については、男女共同参画推進懇話会からの提言書や他団体の状況を踏まえ調査・検討してきた。すべての人が自分らしく暮らし、男女があらゆる分野に對等に参加して、ともにその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会は誰もが願うところである。このことから、男女共同参画の推進に関する施策について必要な事項を定め、男女共同参画を総合的かつ計画的に推進するための条例を、3月議会に提案していきたい。

#### 公務・公共サービスの民間化の実態は

#### 問

市場化テスト法が自治体に与える影響として、公共サービスの質の低下、個人情報などが指摘されている中でなぜ民間に窓口業務を任せるとか伺いた

12月定例会の

### 一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

深山 孝

・教育問題

・文化財・郷土資料の保管と

公開

・行財政

田中 元三郎

・東戸崎地区の公園の建設

・小中学校の諸問題

・上尾駅周辺の道路対策

・住民基本台帳カード

清水 義憲

・学童保育所

・教育行政

・都市計画道路、西宮下中妻

線

伊藤 美佐子

・子どもの心といのちを守る

教育

・上尾市農業の今後

・障害児就学問題

児玉 晋

・子ども達が安全に過ごせる

放課後

・公契約

・教育の問題点

糟谷 珠紀

・公的保育の拡充を

・公務・公共サービスの民間化の実態



い。

**答**

第6次上尾市行政改革大綱・実施計画では、国・地方を通じた厳しい財政状況の中、持続可能な行財政システムを構築するため、これまで行政が主として提供してきた公共サービスについても、NPO・企業などの協働により推進していくことが定められている。民間事業者などが実施する方が効率的・効果的なものは、可能な限り民間事業者などにサービスを移行するものとし、反面、行政が行わなければならない事務事業も適切に選択していくことが必要になってきている。このようなことから、駅前図書館の貸し出し業務や保険年金課の窓口業務について委託化や派遣職員による受付業務を実施した。今後とも、行政改革大綱実施計画に基づき、民間委託、あるいは派遣に移行することが適切な業務が検討していきたいと考えている。

### 全世帯に広報の配布を

**問**

昨年9月議会で全世帯への配布を今年4月からと答弁しているが、現実には実施されていない。また、町内会を脱会した世帯に配布を取り止めるという事態まで発覚している。こういった世帯に「広報あげお」が配布さ

れないのはなぜか。

**答**

これまで各地区、区長会の有無に関わらず、対象区域に住する全世帯に対する広報誌の配布を行っていたが、働きかけをしてきた。区長会からは、趣旨は概ねご理解をいただいたものの配布を行う際の問題点が指摘された。問題点は、地域の实情によりそれぞれ異なり、にわかには解消することは不可能なため、現時点においてはもれなく各戸へ配布する時期を明言することは困難である。しかしながら、問題点を整理した上で事務区と市が連携をさらに深めながら、取り組みを進めてまいりたいと考えている。

## 福祉・保健

### 子育て支援の中でつどいの広場の進ちよく状況は

**問**

6月議会で、NPO法人へのつどいの広場を運営委託について、法人からの要請があれば設置場所などを踏まえ協議すると答弁があった。政府も来年度中にすべての中学校区の6割に拠点を設けるといふ方針であるが、その後の状況を伺いたい。

**答**

つどいの広場事業については、現在、子育て支援活

動を行っているNPO法人と事業の内容などについて協議を行っている。事業の内容としては、子育て中の親子が交流できる場の提供、子育てアドバイザーによる子育ての悩みに対する相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施する方向で進められているところである。

また、事業の実施場所については、事業を実施できる一定のスペースがある空き家などで、家賃や交通の利便性などを考慮して検討を行っている。

### 高齢者の安心と安全な生活維持のための地域福祉づくりは

**問**

地域福祉の充実のために隣近所で助け合える互助組織が大切である。特にいわゆる団地などの高齢化率は20%と高く日常生活にも困るような高齢者の方も増えている。地域福祉の取り組みについてどのような指導・援助をしていくのか伺いたい。

**答**

現在、地域福祉計画の策定を進めている。この計画は社会福祉法に位置付けられた地域福祉の推進に関する基本計画となるものである。市広報で公募した市民による市民会議を中心に10年後を目指し市民の目線で地域福祉の今後のあり方を検討していただいている。また計画策定の一環



大谷公民館での地域福祉懇談会

### 利用料減免制度の実施状況は

**問**

目まぐるしく変わる介護保険制度は、高齢者の自己決定を著しく阻害するものであり、制度を頼りに日々の暮らしを成り立たせている高齢者は、暮ら

#### 中村 清治

- ・スポーツ施設の充実
- ・教育問題
- ・人材育成
- ・財政状況

#### 橋北 富雄

- ・新年度予算編成
- ・図書館

#### 西村 テル子

- ・持ち家マンション
- ・上尾伊奈斎場つつじ苑

#### 遠藤 朝子

- ・地球温暖化防止対策の推進
- ・水害のない町づくりを

#### 佐野 昭夫

- ・介護保険制度の充実を
- ・障害者の負担軽減

#### 道下 文男

- ・市民の防犯意識向上
- ・障害施策
- ・上尾市の産業振興施策
- ・子どもの放課後対策

#### 武藤 政春

- ・男女共同参画推進
- ・子育て支援対策
- ・介護予防対策

#### 上尾市の財政問題

- ・上尾市の財政問題



しの危機にひんしているといつても過言ではない状況である。そこで市独自の利用料減免制度の実施状況について伺いたい。

**答**

独自の減免については、低所得者を対象に介護保険サービスの利用者負担に係る一部助成を行っている。対象者は在宅で介護サービスを利用している市民税非課税世帯の方で、毎月申請手続きを行うよう勧められているところである。また助成額は、保険料の第一段階、第二段階、第三段階の三つの段階に基づき第一段階の人は、利用者負担額の2分の1、第二段階及び第三段階の人は4分の1の額を助成し、低所得者の負担軽減を図っている。実施状況については、10月分について第一段階の人は2名、第二段階の人は408名、第三段階の人は211名で合計621名が対象となっており、助成額は合計で136万円となっている。

# 教 育

## 大規模学童保育所の現状と今後の対策は

**問**

大谷学童保育所では60人定員のところ80人が通所している。部屋の中でも外でも飛び回り、いつ事故が起きても不思議



子どもたちであふれる大谷学童保育所

ではない状態である。おやつの間では部屋に全員が一緒に入れないため、流れ作業で順番に取っている。子どもの居場所であるはずの学童保育所が子どもとゆっくり話す場もなく、すし詰め状態である。このような大規模化した学童保育所の対策について伺いたい。

**答**

学童保育所の入所児童数は11月1日現在で、20の学童保育所に1,169人が入所しており、1カ所平均約58人となっている。このうち入所児童数が70人以上の学童保育所は、大石、大谷、原市、柏座、芝川の5カ所となっている。

今後放課後保育に欠ける児童が生じた場合を想定し、民間施設を利用した学童保育を行う団体への補助制度などの環境整備への対応を現在検討しているところである。また、具体的な実施時期としては、民設民営への補助制度を平成19年

度に創設できるよう努力したいと考えている。

## 心を育てる教育環境づくりの取り組みは

**問**

最近のいじめ、自殺、家庭内暴力、引きこもりが社会問題化している。人間として最低限度守らなければならないルールやマナーを理解できないまま成人してしまつた若者たちが子育てをし、将来の日本を担っていくことに危機感を禁じ得ない。自分を慈しみ、人を敬愛する心をはぐくむ教育が必要不可欠であると考え、各学校での取り組みについて伺いたい。

**答**

各学校では、心豊かな児童・生徒を育成するために道徳教育の授業の充実を図り、「他人の心の痛み」や「命の尊さ」が分かる心の醸成に努めている。

また、「教育に関する3つの達成目標」の中の「規律ある態度」を身に付けさせることに努め、「あいさつ」や「時間」を守ることに社会的性を身に付けさせることに重点をおき指導している。

さらに、読書活動を充実させ、多くの書物に触れさせ、地域の人の触れ合い活動や職場体験活動などの取り組みを一層充実させ、心を育てる教育環境づくりに努めていきたいと考えている。

## 市民体育館の柔道場・剣道場の空調設備の充実を

**問**

市民体育館の柔道場・剣道場は柔道・剣道のほか、健康体操・エアロビクス・バレエ・ヨガ・フオークダンス・太極拳・新体操・ジャズダンス・社交ダンスなどにも利用されており、利用者から冬は冷え冷えし、夏は窓を開けても風が思つように入らず、卓球場と同様な空調設備を設置していただきたいとの要望があるが、見解を伺いたい。

**答**

近年スポーツ人口の増加や高齢化に伴い、柔道・剣道などの武道以外の多種多様の団体が利用していることは承知しており、夏の暑さ、冬の寒さは辛いものがあると推察する。冬の時期は現在石油温風ヒーターを柔道



市民体育館剣道場

・教育先進市をめざして  
・容器リサイクル法改正への対応

松木 清作

・水道水と市販されているペットボトルの水  
・自然災害

・中山道東側地区第一種市街地再開発事業の進捗状況

・青少年問題

・自宅介護

谷澤 公彦

・障害者（児）施策

・教育の諸問題

・地域コミュニケーション

・施設建設

秋山 かほる

・子育て支援

・環境政策

畠山 稔

・鴨川水害防止

・戸崎埋立て跡地利用

・学童保育所

・ふれあいの里の有効活用

鍵山 節子

・高齢者や重症者の医療費の負担軽減

・(株)TRIサイタマ工場敷地の土壌・地下水の汚染

森島 岐代子

・07年度の予算編成

・男女共同参画推進条例の早期制定を

・中山道東側地区第一種市街地再開発事業

場・剣道場それぞれ1台ずつ設置しているが面積的に1台では十分な状況ではないと理解していることから、暖房機については利用者の健康に配慮し、早急に台数を増やす方向で対応していきたいと考える。夏の冷房については厳しい財政状況ではあるが、快適にご利用いただけるよう今後の課題として前向きに検討したい。

### 児童・生徒に対するノロウイルス対策は

**問** 今各市でノロウイルス感染症が集団発生している。ノロウイルスの検査の結果はすぐに出ない難点があり、それでどんなまん延していく可能性がある。そこで児童・生徒に対する対応について伺いたい。

**答** これまで市内でのノロウイルス感染の報告はなく、市内のすべての小・中学校に対して指導、注意事項などについて緊急に通知した。ノロウイルスは抵抗力の弱い幼児や老人が感染すると、脱水症状を起し重症になることもある。しかし、一般の児童・生徒が感染しても、症状が3日程度で回復することがほとんどである。ノロウイルスの検査の結果が判明するには1週間程度かかり、実際ノロウイルスに感染していることが分からない場合がある。

市では、感染力の強いノロウイルスを防ぐために児童・生徒の石けんでの手洗いやうがいなどの指導を徹底し、必要に応じて校長が学校医の意見を聞くことや、状況によっては学級閉鎖などの措置を講じるよう指導している。

### 教育長就任にあたり学校教育に対する所信は

**問** これまでよい教育環境を整えるため、短い間に小・中学校に多くの新しい施策が実施されていたことを実感するが、新たに教育長に就任されるに当たり、これから上尾市の小・中学校をもっとよくなるための所信を伺いたい。

**答** 学校教育における教育重点施策の柱に、「生きる力をはぐくむ特色ある学校づくりの推進」を掲げ取り組んでおり、前教育長が築いた上尾の教育を継承し、さらに一歩前進すべく努力する覚悟であり、そのためには教職員の指導力の向上を目指し、サービスの厳正を期することが何よりも重要であると考える。今後、さらに学校と教育委員会が一体となって上尾の教育の課題を明確にし、魅力ある学校づくりのため、安心、安全な学校、児童・生徒、保護者、地域が誇れる学校を目指し、上尾の教育を市民が誇れる「夢・感動教

## 都市整備

育「上尾」となり、子どもたちが「元気です上尾 好きです上尾」の実現に向けて鋭意努力する所存である。

### 鴨川の富士見団地付近の堤防高の測量を

**問** 鴨川の富士見団地付近では、溢水を防ぐため土のうが積まれた状態になっている。ここは特に旧道路をそのまま堤防として利用したところで、高低差が激しく、他の部分に比べて特に低い状況になっている。場所によっては対岸からは1m以上低いという数字も出ているが、堤防高の測量の実施時期を伺いたい。

**答** この場所は、現況河道の起伏が著しく変化している



土のうが積まれている鴨川左岸

部分も見受けられ、土のうなどにより応急処置をしている。北本県土整備事務所に対し、測量を行い堤防の修繕などの対策を講じていただきたい旨を強く要望したところ、来年度に実施測量調査を行う予定であるとのことである。

### 持ち家マンションに対する支援は

**問** 全国の間譲マンションの世帯数は442万戸で、国民の1割はマンションを持ち家としている。

上尾市においてはマンションの戸数が年々増加し、さまざまな問題が起りえることが予想されるが、マンション管理に対する相談や自治体の支援対策の現状を伺いたい。

**答** 埼玉県では、埼玉県マンション居住支援ネットワークを設立し、専門知識を持ったNPO団体のメンバーやマンション管理士が、管理組合や日常生活のトラブル、建物・設備の維持管理などのマンション管理に関する無料相談を行っている。

また、支援対策については、耐震診断や耐震改修に関する助成制度が国で整備されており、この制度活用のため、県では、今年度に建築物耐震改修促進計画の作成をしているところである。市におい

ても耐震改修促進計画を作成していきたい。マンション共有部分の改修工事への利子補給制度については、関係する各課とともに他市の状況を調査して研究していきたいと考えている。

### 上尾駅東西道路の進捗よく状況は

**問** 西宮下中妻線に関連して、仲町谷津線都市計画決定事業による調査費が計上されたが、工事に関して今後の予定を伺いたい。



郵便局前の第二川越街道踏切

**答** 上尾駅東西道路として予定している(仮称)仲町谷津線は、上尾駅の南側に位置し、中山道と西宮下中妻線とを結ぶ補助幹線道路である。この道路は、上尾郵便局東側にある第二川越街道踏切のボトルネックの解消と、上



尾駅周辺の歩行者や車両の交通の利便性の向上とコンパクトシティの形成を図る上で極めて重要な役割を担っている。現在、都市計画決定を前提とした検討・調査として概略設計と交通量調査を進めており、関係機関であるJR東日本高崎支社や埼玉県と協議を行っているところである。今後は、関係する地権者や周辺地域の住民との合意形成を図りつつ、関係機関との協議をさらに進め、平成19年度を目標として都市計画決定に向け努力していきたい。

### 尾山台団地周辺と瓦葺地区の浸水対策は

**問** 尾山台団地外周道路や大字瓦葺1655番地付近の浸水対策について伺いたい。

**答** 尾山台団地の北側道路は今年5月と7月の大雨時に道路が冠水し通行に支障を来していたため、道路の一部に都市下水道へ接続する排水管の増設工事を実施したところである。この他の外周道路についても可能な限り排水管の増設工事を実施していきたいと考えている。大字瓦葺1655番地付近は第二産業道路から見沼用水路に向かって傾斜しているため、当該地点が最も低い地域であるため大雨時には短時間で雨水が流れ込み、浸水被害が生じている

状況である。現在地元の自主防災が手動式エンジンポンプで排水しているが、抜本的対策として、雨水を一時貯留する。常設ポンプにより強制排水する。都市下水道への排水管を増設するなどが考えられる。いずれにしても現地の詳細な調査、解析が必要であり、今後市としても現状における浸水被害を軽減するための対策が見いだせるよう取り組んでいきたい。

## 環境・産業

### 容器包装リサイクル法改正への対応は

**問** 容器包装リサイクル法が平成19年4月から改正される。ペットボトルの回収品目が拡大されるとともに、容器包装を多



ペットボトルはリサイクル

量に使用する事業者に対しては、包装材の削減目標の設定と定期報告が義務付けられ、取り組みが不十分な業者については勧告、公表、命令の措置が取られる。これらに対する市の取り組みについて伺いたい。

**答** ペットボトル品目拡大については、容器洗浄の徹底やきめ細かい分別による品質向上と回収率の増加を図られるよう、分別収集計画の作成に取り組んでいきたい。業者への指導については国によるものだが、市としても法の趣旨にのっとり、業者に対して更なる啓発を行っていきたい。

### (株)TRIサイタマ工場敷地内の土壌・地下水の汚染は

**問** 大谷本郷にある(株)TRIサイタマ工場敷地内の土壌と地下水から有害物質が検出されたことが一般新聞などで報じられた。この汚染問題の経過と市の対応について伺いたい。

**答** 10月に(株)TRIサイタマが自主的に行なった土壌・地下水の汚染調査の結果、環境基準を超える4つの有害物質が検出されたと報告があった。汚染は、最大で2,400倍を超えるもので、有害物質が使用されていた個所に集中して検出されたが、工場敷地全体での土壌汚染は確認されなかつたとの報告を受け、市として4点について調査・指導を実施した。1点目は周辺井戸の水質調査を実施し結果を公表する。2点目は周辺住民に土壌・地下水汚染の状況を公表、周知し、井戸の飲用の使用禁止を広報するよう指示した。3点目は汚染拡散防止計画の提出を指示した。4点目は汚染個所の浄化対策及びモニタリングの実施を指導したところである。

### 遊休農地対策は

**問** 遊休農地が全国的に問題となつている。そこで遊休農地解消に向けた市独自の中長期的なプランが必要であり、数値目標を掲げ総合的な施策を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

**答** 現在、上尾市の遊休農地面積は、148ヘクタールで5年前の調査に比べ若干増加傾向にある。要因としては、高齢化・後継者不足などによる労働力不足や農産物価格の低迷などが挙げられる。遊休農地解消の対策としては、現在、市内には108戸の専業農家が存在しているため、国の施策に沿った農地の利用集積制度を積極的に進め、専業農家や担い手農家に農地の集約を図りたいと考えている。数値目標は、農業に関する基本構想に掲げられて

詳しくは会議録やインターネットで

市議会では、定例会や臨時会ごとに「上尾市議会会議録」を発行しています。議案の審議内容や一般質問の内容など、詳しくお知りになりたい人は、議事務局、図書館、各支所・出張所、情報公開コーナーなどで閲覧できます。

⇒ 議事務局 (☎775-9467)

<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>



上野本郷の遊休農地

傍聴席からひとこと

要望が具体化される流れを知る

初めてサークルの仲間10余名で議会を傍聴にまいりました。

一般質問で、先にお願いをした要望が議題にとりあげられ、具体化される答弁をいただき、うれしく思いました。



たけがはらかつこ  
竹ヶ原勝子さん  
(向山)

私たちの要望の実現が市民の健康増進につながれば幸いです。議員さんの質問は地域に密着しているからこそその内容で、貴重な経験をさせていただきました。また、市民の要望が具体化される流れを知るよい機会でした。

市民は市議会の証人に



3年位前から1定例会に1回は来ている。

現在、改革という名前の下、介護保険・生活保護・健康保険など弱者に厳しい方向に向かっている。

中村周平さん(平方領々家) 国で決まったことだからといって、そのまま市が取り入れないで、市の裁量でできる施策は、弱者保護の点からも検討していただきたい。

市議会でいろいろな質問がやり取りされているが、発言は大事な問題であり、市民はその発言の証人となるために議会を傍聴するべきだと思う。

\* 次回の3月定例会は、  
2月26日に開会の予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、2月20日(火)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継を行っております。

上尾市議会ホームページアドレス  
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

～ 議会報編集委員 ～

畠山 稔、児玉 晋、清水 義憲、  
島村 穰、深山 孝、鴨田 幸子、  
秋山かほる、遠藤 朝子

「議会だより」は再生紙を使用しています



福祉消防常任委員会の審議の様子

委員会活動  
H18.10.16 H19.1.15



総務常任委員会の審議の様子

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	12.7	●12月定例会提出議案6件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	12.8	●12月定例会提出議案2件を審査
建設水道常任委員会	12.7	●12月定例会提出議案3件を審査
福祉消防常任委員会	12.8 ～19	●12月定例会提出議案11件、請願2件を審査
議会運営委員会		●議員定数条例、議会運営について協議(協議回数7回)
議会報編集委員会	10.19 11.9 ～10	●「あげお議会だより 135」の内容について協議 ●議会広報紙、議会放映やインターネット等を利用した広報活動について視察(盛岡市・花巻市)

決算審査

平成17年度決算議案8件を認定

平成18年9月定例会で閉会中の継続審査事項として決算特別委員会に付託した平成17年度一般会計、特別会計(6件)、水道事業会計の各決算認定議案8件は、9月27日から10月11日までの約5日間にわたり慎重に審査を行いました。

審査方針として次の3項目を決定しました。

1 予算執行の適合性。予算は目的どおり適切に執行されたか。その

行政効果はどうか。 2 予算に対する収入・支出の妥当性。歳入予算に対する収入済額の主な増減及び収入未済額の理由のほか、歳出予算に対する主な不用額の理由。 3 次年度以降の改善点などについて

以上の点を中心に審査を行いました。

その結果いずれも原案どおり認定しました。

意見書3件を原案可決

12月定例会最終日の20日、議員提出議案として意見書5件を提出し、3件を可決、2件を否決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

農作物の自然災害防止のための多目的のネット補助金制度の創設を求める意見書

提出先 埼玉県知事  
公立高校授業料減免制度の維持・拡充を求める意見書

提出先 埼玉県知事  
さわやか相談員の増員を求める意見書

提出先 埼玉県知事